

## まえがき

---

本報告書は、緑化生態研究室が平成28年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが平成28年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

平成28年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の4テーマに分類されます。

- ① 樹木の管理と更新に関する研究
- ② 生物多様性の確保に関する研究
- ③ 良好な景観の形成に関する研究
- ④ 公共空間の分析と計画に関する研究

「① 樹木の管理と更新に関する研究」では、街路樹の安全性向上に関する研究を実施しました。

「② 生物多様性の確保に関する研究」では、地域性植物による緑化手法に関する研究、都市における外来生物等による健康生活被害に関する調査、河川管理による外来植物の分布拡大抑制に関する調査を実施しました。

「③ 良好な景観の形成に関する研究」では、地域づくりに効果的な伝統技術の保全・活用方策に関する調査、質の高い道路空間の再編・利用に係る計画手法に関する研究を実施しました。

「④ 公共空間の分析と計画に関する研究」では、防災公園の効果的な管理運営方法に関する研究を実施しました。

また、これまでの研究の一部を以下の国土技術政策総合研究所資料（以下国総研資料）にとりまとめました。

- ・「これからの社会を支える都市緑地計画の展望 人口減少や都市の縮退等に対応した緑の基本計画の方法論に関する研究報告書（平成28年6月）」（国総研資料第914号）

緑化生態研究室は、地球規模の環境問題を踏まえつつ、自然と人間の共生する緑豊かな国土を形成し、国民が豊かさを実感できる生活環境を形成するため、今後も環境研究に邁進する所存であります。

皆様におかれましては、多岐にわたる当室の調査・研究の概要等を集約した本報告書を通じて、当室の取り組みへのご理解を深めていただくとともに、その成果が当室の担う目的の実現に着実に結びつくものとなるよう、引き続き変わらぬご指導をいただければ幸いです。

平成29年9月

国土交通省 国土技術政策総合研究所  
社会資本マネジメント研究センター  
緑化生態研究室長  
舟久保 敏